文化庁「文化芸術創造都市モデル事業」

蔵とアートをめぐる

ネオ・クラシック！カクノダテ

2011年10月22日(土)-30日(日)

「創造の最先端」と
「かわらず
そこにあるもの」
角館の歴史を
象徴する「蔵」で
現代の「アート」に
出会う旅

会期中無休　観覧無料　※一部イベントやワークショップは有料制です。詳しくは特設ウェブサイトをご覧ください。

お問い合わせ先「文化芸術創造都市モデル事業」仙北実行委員会（角館町観光協会）〒014-0369 秋田県仙北市角館町上菅沢394-2
TEL:0187-54-2700 info@kakunodate-kanko.jp PCサイトhttp://kakunodate-kanko.jp 携帯電話サイトhttp://kakunodate-kanko.jp/k

主催「文化芸術創造都市モデル事業」仙北実行委員会　共催 仙北市、仙北市教育委員会、一般社団法人角館町観光協会　協力 秋田公立美術工芸短期大学、ココラボラトリー、株式会社わらび座

A 荒川家蔵

10:00～17:00

蔵ものがたり
～歴史 想い 夢～
佐藤勵
彫刻
蔵には、歴史・想い・夢が詰まっています。時を重ね伝統ある荒川家の蔵ものがたりを表現致します。

ほっこり日和
和菓子と珈琲のユニット
佐藤家とチームほっこり
和紙、ちぎり絵、絵画 等
佐藤家とチームほっこり(イデハワシ/sanemi/まつはしまりこ/Shun/ゴトー)による作品展示。

10/30(日) 作品に囲まれた空間で、和菓子と珈琲を味わい、「ほっと」できる1日限りのカフェがオープンします。

各会場間／道端

風花～角館
空気ひとし
インスタレーション
風の通り道に咲くという白いお花のような、かざぐるま。今年は町のどこに咲くのかな。

B 外町交流広場 10:00～17:00 ※イベント開催時は貸切

京都人がゆく魅惑の小京都・角館
吉岡洋
トークショー 10/22(土)17:00～ 無料
アートプロデューサーとして地方活性化イベントを多数手がけてきた京都人・吉岡洋(美学者/京都大学大学院教授)が「小京都・角館の真の魅力」を語ります。"目からウロコ"の楽しいお話しです。
中学生以上30名(事前申込不要・当日先着順)

百杯会
座談会 10/22(土)18:00～ 無料
百杯会とは、「語り伝えること耳を傾けること対話すること」をキーワードに、日々の生活の中でふとわき上がる疑問、抱いている思いについて、世代や立場をこえて語らう場です。
成人20名(事前申込不要・当日先着順)
※飲酒イベントにつき、未成年者の参加はお断りします。

蔵ライトアップ
新屋参画屋ライトアップ部
パフォーマンス
10/29(土)18:00～ 無料
展示会場となっている各蔵を人の手で照らし出します。見学ご希望の方は18:00に安藤醸造元本店(地図E)前にお集まりください。

C 西宮家米蔵土間 10:00～17:00

源流ー原始の民ー
源流ー夜ー
皆川嘉博
彫刻
日本人のルーツを探る旅・「源流シリーズ」より、古代からの息吹に満ちた作品を展示します。

D 西宮家前蔵 10:00～17:00

秋田公立美術工芸短期大学
工芸美術学科
織コース
越田彩子、鈴木さとみ、千葉尚美、岩佐枝里子、佐々木斉子、畠山怜子、村田はづき、山田未来による織作品を展示します。

秋田公立美術工芸
短期大学
工芸美術学科
絵画コース有志
なくわみれな、天野絵理奈による絵画作品を展示します。

E 安藤家蔵／座敷 10:00～17:00

Street Position
芝山真理子
鋳金
印象的な建造物の形を作品に取り込んでいます。鋳造技法による立体作品です。

みずうみ
木のうつわ
月夜
匙
岸上恭史
木材工芸
木材を刳ることによって現れる空間、刃物の跡。

色匣
松田明徳
金属工芸
金属を金鎚で叩き現れる質感と、温度や薬品によって引き出した色彩を用いて制作した小箱。

秋田公立美術工芸
短期大学
工芸美術学科 陶芸コース
魚津悠、高橋明日香、角尾和泉、中里愛海、長谷山智香、石川美優、中川真織、樋渡初美香による陶芸作品を展示します。

森について
安藤郁子
陶芸
森の闇 森の光
いつか人は
そこに帰る
その森に帰る

わたし・渡・私
華雪
パフォーマンス
10/29(土)
わたしを書く度、ひとつのわたしが外へと吐き出される。

F 太田家米蔵 10:00～17:00

ペティコート
村山留里子
ミクストメディア
使われなくなった装飾品など無数の「奇麗なもの」を収集し、縫い合わせたペティコート

Open Sculpture
芝山昌也
彫刻
銀閣寺・向月台の自然感と花柄のじゅうたんの自然感を融合させた彫刻を展示予定。

ホコリ≒ほこり
阿部由布子＋長沢桂一
ミクストメディア
「ホコリ」の要素は全て「ほこり」の要素でもあり、「ホコリ」は「ほこり」以外の集合で「ほこり」の部分集合である。即ち「ホコリ」は「ほこり」の真部分集合である。

"みちのくの小京都"として名高い角館を訪れる人は誰しも、歴史が"かわらずそこにある"様に魅了されますが、この街が幾度も大火に見舞われ、そのたび復興を遂げてきた事実は、あまり知られていないようです。町内に101棟も現存している「蔵」は、そうした災厄に先人達が各時代の"最先端"技術で立ち向かった証でもあります。私達に、後世に伝えるべき「かわらずそこにあるもの」とは何かを問い、「創造の最先端」こそが未来を開く鍵であることを示してくれる「蔵」は、まさしく「アート」と同じ役割を果たす存在といえます。その「蔵」と新進気鋭のアーティスト達との間で織りなされる表現は、私達にどのような可能性を見せてくれるでしょうか。この秋、"蔵とアートをめぐる旅"に出かけてみませんか。